

# 陶磁器からみる近世甲斐国の人相について

東京大学埋蔵文化財調査室 堀内 秀樹

## 1. 近世城下町の陶磁器

近世の城郭は、平地が選ばれ、領内の拠点として政治、経済の中心的として機能するが、商工人は総構えの中やその近辺に取り込まれ、純消費者である武家の需要を支えた他、自らも含めて都市民の消費需要を支えるといった特徴を持っている。

こうした近世的な領国の状況は、城郭・城下町を消費マーケット化し、モノの消費に与えた影響は大きい。こうした点で城下町から出土する資料は、武士階級のみならず多階層の消費が反映されることになる。

## 2. 江戸の消費様相

近世城下町社会の中で、施政者である武家の需要とその変化は重要で、その動態は武家の活動と連動していることはいうまでもない。武家社会は将軍を頂点として階層化している社会であることから、将軍が行ったあるいは定めた規則や活動が規範となって規格化・様式化することになる。

江戸は、寛永年間（1624～43）に江戸の性格を決める重要な法令である江戸置邸妻子収容の法と参勤交代制度が出される。これによって大名の多くは江戸で生まれて江戸で育ち、そして大名になった後は江戸と領地を隔年で往復することになる。また、大名の活動として最も重要なことは、参勤をはじめとする将軍に対する「奉公」であり、それは将軍の居住する江戸で行われることが多く、江戸藩邸がその活動拠点となる。このように法令や江戸の城郭・都市整備も寛永期に一定の完成を見ることから、このころに武家の活動様式の成立すると思われる。

## 3. 甲斐国の人相

甲府は長期間城主不在の城下町であり、また、國中の物流ルートが限定されるといった他にはない際だった特徴を持っている。考古学的には消費拠点の城郭や物流拠点の河岸の発掘調査も施行されているなど、行政的な取り組みも良好である点は特筆したい。

### （1）甲府

甲府は、歴史的変遷から江戸時代初期には徳川家近親者、1704～24年には柳沢家、それ以降は甲府勤番支配となり、18世紀初頭を除いて大名が在城していない特殊な城下町である。こうした場では大名を中心として行う種々の儀礼が行われないことから、柳沢氏の在城期にはこうした場で使用される焼塩壺、上質で揃いの磁器製品などの出土が認められるものの、他時期には希薄である。また、江戸から勤番武士が派される甲府勤番時代には、今戸製品、京都・信楽の煎茶具など都市江戸に近似した陶磁器様相が認められる。

### （2）谷村

谷村城は、近世前期に豊臣系の大名、江戸時代には鳥居氏、秋元氏などの譜代大名の居城となるが、1704年以降幕府直轄地として代官支配となる。こうした推移は、モノの様相に大きな影響をもつと思われる一方、甲斐国の物流経路とも関係していると考えられる。

江戸時代初期には、大型の中国漳州窯系磁器製品、唐津の斎茶碗、志野の向付、御深井の手鉢など儀礼道具や茶陶とみられる製品が確認できる。秋元氏の時代の資料は、小破片が多く、量的にも多く確認できないが、有田内山で生産されたと推定できる良質の磁器皿などが確認される。こうした点は、甲府と対照的な状況と判断できる。また、江戸後期には清朝の青花、出土例が多くない土瓶や急須、煎茶碗など趣味的な器種が一定量出土している。加えて、今戸や京都産と推定される人形・玩具類が多く出土している。これらの様相は、甲府の状況と近似した様相と評価できる。

### （3）村落遺跡

調査事例は少ないが、南アルプス市の宮沢中村遺跡では、甲府や谷村城・城下町で認められないいくつかの村落的と評価できる後述する特徴が確認できる。今戸の製品が確認できない。磁器製品が粗製である。5寸以上の皿類の出土が少ない。京都・信楽産の製品が少ない一方、瀬戸美濃産の製品が多い。土

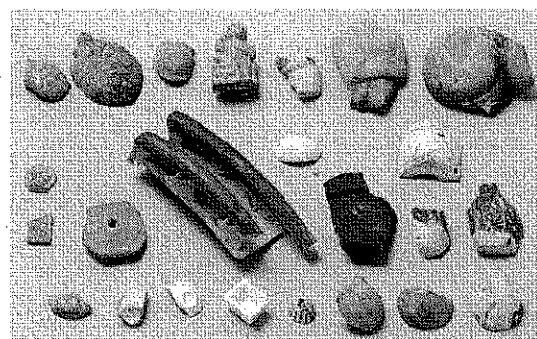
製の手付き焰烙鍋が非常に多い。爛徳利がない。このうち人形・玩具類については、甲府城・城下、谷村、宮沢中村も出土し、特に芥子面は地鎮などとの関係も指摘されていることから、甲斐国の特徴とも考えられる。

#### (4) 鰐沢河岸

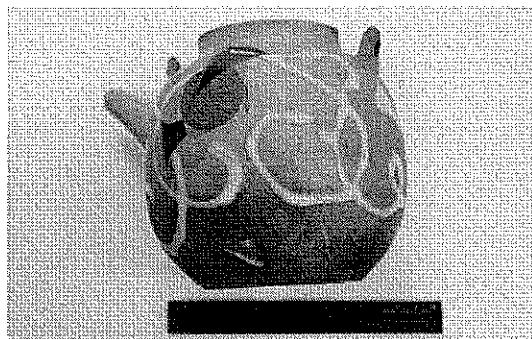
甲府盆地は周囲を山に囲まれ、近世から近代にかけての大きな物流経路は富士川を遡上するルートで、甲斐国の運輸・経済に大きな役割を果たしてきた。こうした状況は様相比較の際に流通ルートの違いに

よる差異を排除できる点でメリットは大きい。

出土した遺物の中には、流通資料と消費資料とが含まれていると思われるが、甲府城・城下町などから出土する京都産の人形類、小法量の小だての鍋、植木鉢など都市的な様相を示す製品と粗製の磁器製品など甲斐国に流入する陶磁器が確認できる。一方、内耳の焰烙など村落部で特徴的に出土する製品の中で、鰐沢河岸から確認されない製品もあり、これらは、甲斐国内において在地流通を形成しているものと判断できる。



甲府城下町遺跡出土玩具・人形類



谷村城出土京都土瓶



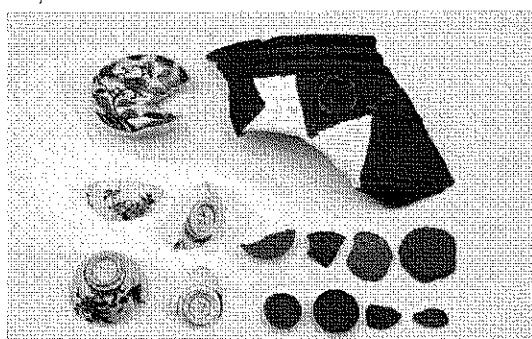
谷村城 18 号土坑出土陶磁器



谷村城 59 号土坑出土陶磁器



谷村城 3 号溝状遺構出土陶磁器



谷村城 34 号溝状遺構出土陶磁器